

IV 理科 正答表並びに採点上の注意 (平成29年度)

問1	(ア)	(イ)	(ウ)
	1	2	3

問2	(ア)	(イ)	(ウ)
	4	3	6

問3	(ア)	(イ)	(ウ)
	1	3	4

問4	(ア)	(イ)	(ウ)
	4	6	5

問5	(ア)	(イ)	(ウ)
	2	76 cm/s	1
(エ)			
X		Y	
[実験2]の台車もつ	位置エネルギー	2	
は小さく運動エネルギーは			
大きい	と考えられる。		

25

(エ)Xは正答例。

問6	(ア)	(イ)	
	2	0.55 g	
	(ウ)	(エ)	
	5	X	Y
		3	6

問7	(ア)	(イ)
	4	デンプンのりの分解の原因が水であるという可能性はなくなります。
	(ウ)	(エ)
	1	4

20

(イ)は正答例。

問8	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
	2	3	7 秒後	1

問	配点
1	各3点 計9点
2	各3点 計9点
3	各3点 計9点
4	各3点 計9点
5	(ア),(イ),(ウ)は各4点 (エ)は両方できて4点 計16点
6	(ア),(イ),(ウ)は各4点 (エ)は両方できて4点 計16点
7	各4点 計16点
8	各4点 計16点
計	100点

## 採点上の注意

### 【問題全般について】

- 中間点は、問5(エ)、問7(イ)以外には設けないこと。
- 疑問点は複数の採点者及び点検者によって判断し、校内で統一すること。

### 【中間点のない記述問題について】

- 問5(イ)、問6(イ)、問8(ウ)について
  - ・ 数値の解答については、小数点以下に0をつけたものも可とする。  
例) 正答が5の場合、5.0、5.00等も可。正答が0.05の場合、0.050等も可。

### 【中間点のある記述問題について】

- 誤字・脱字（句読点に係る誤りを含む）の判断については、校内で統一すること。
- 指定語句を含め、全体を通して誤字・脱字（句読点に係る誤りを含む）については、その数にかかわらず1点減点とする。
- 指定語句が脱落している場合は誤答とする。
- 誤ったことを書き加えている場合は誤答とする。
  
- 問5(エ)について
  - ・ 正答例以外であっても、与えられた条件をすべて満たしたうえで、**得点項目A**の(あ)、(い)をともに満たすならば、正答として4点を与え、いずれか一方の場合は誤答とする。  
**得点項目A**
    - (あ) Xについて、位置エネルギーと運動エネルギーという語を両方用いて、位置エネルギーが小さく運動エネルギーが大きいという趣旨が読み取れる。
    - (い) Yについて、2を選択している。
  - ・ 中間点は、誤字・脱字等の減点による3点となる。
  
- 問7(イ)について
  - ・ 指定語句は「デンプンのり」である。
  - ・ 正答例以外であっても、与えられた条件をすべて満たしたうえで、**得点項目A**を満たすならば、正答として4点を与える。  
**得点項目A**  
「水はデンプンのりの分解の原因ではない」という趣旨が、「( X )という可能性はなくなります。」までの内容から読み取れる。
  - ・ 中間点は、誤字・脱字等の減点による3点となる。